

はじめに

まとめ(結論・考察・今後の展望)

背景

MBTI診断：自身の性格を4つの指標を使って16種類に分類する性格診断



問い合わせ (本研究で明らかにすること)

MBTI診断（無料性格診断テスト | 16Personalities）は外界への接し方（P型・J型）の領域において、性格の傾向を分類できているのか。

<まとめ>

t検定の結果より、P型・J型のどちらも、MBTI診断は受検者の性格の特徴を分類できている。

意義

MBTI診断が性格の傾向を分類できている

→自己理解や他者理解のひとつの指標となり、面接や対人関係、キャリア選択、ストレスの軽減に活かせる

MBTI診断が性格の傾向を分類できていない

→過度なラベリング、固定概念の形成を防げる

問い合わせ (本研究で明らかにしたこと)

MBTI診断（無料性格診断テスト | 16Personalities）は外界への接し方（P型・J型）の領域において性格の傾向を分類できている。

<今後の展望>

- ・T型とF型、S型とN型でもMBTIは正しいのか
- ・他者から見た性格とMBTIは一致するのか

研究対象と方法

結果

k78の4クラス計106人（文系と理系2クラスずつ）にFormsに回答してもらう。

[Formsの質問内容]

①自身がP型かJ型か回答。

計画や決められた手順にとらわれたくない物事をコツコツ進めるのは苦手など

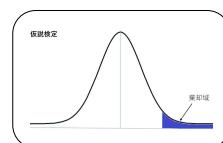
②P型、J型の特徴とMBTI診断サイトを

参考にして作ったP型かJ型かを判断する質問

全15問に「はい」「いいえ」の2択で回答。

※P型とJ型の「はい」と「いいえ」が

ランダムになるように設定



[分析方法]

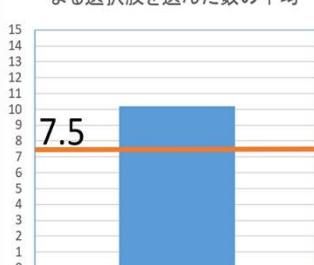
異なる2つの集団から得たデータ

有意水準5%、対応なし・片側のt検定

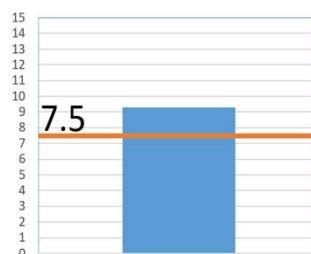
① P型の人が、P型の特徴に当てはまる方の選択肢に回答した数の平均を集計

② ①と同様にJ型の人も集計

P型の人がP型の特徴に当てはまる選択肢を選んだ数の平均



J型の人がJ型の特徴に当てはまる選択肢を選んだ数の平均



③ ①②の数値と、7.5(性格の傾向を分類できていないと仮定したときの期待値)の差に意味があるのか調べる。

【P型】

対立仮説：P型に分類される人は、アドリブが得意などMBTI診断（無料性格診断テスト | 16Personalities）で説明されているような特徴をもつ。

帰無仮説：P型に分類される人はそのような特徴をもたない。

t検定の結果：自由度79, t値 7.8615, p値 < 0.01

p値は有意水準5%を下回るため、帰無仮説は棄却できる

→対立仮説は認められる

【J型】

対立仮説：J型に分類される人は、几帳面などMBTI診断（無料性格診断テスト | 16Personalities）で説明されているような特徴をもつ。

帰無仮説：J型に分類される人はそのような特徴をもたない。

t検定の結果：自由度25, t値 5.5993, p値 < 0.01

p値は有意水準5%を下回るため、帰無仮説は棄却できる

→対立仮説は認められる

参考文献

無料性格診断テスト | 16Personalities

<https://www.16personalities.com/ja/%E6%80%A7%E6%A0%BC%E8%A8%BA%E6%96%AD%E3%83%86%E3%82%89%E3%83%88>